

## 第 1 回 安曇野市防災会議

- 1 審議会名.....平成24年度 第1回安曇野市防災会議
- 2 日 時.....平成24年10月25日(木) 午前10時00分から午前10時55分
- 3 会 場.....安曇野市役所掘金総合支所 301会議室
- 4 出席者.....大井委員、左近委員代理、北原委員代理、油井委員、小宮山委員、鳥海委員、  
中村(邦)委員、櫻井委員代理、寺畑委員、青柳(俊)委員、  
中村(真)委員、中島委員、澤海委員代理、上條委員、猿田委員、北澤委員、  
高井委員、青柳(政)委員、宮川委員
- 5 市側出席者.....宮澤市長、村上副市長、丸山教育長、宮田部長、中山部長、小倉部長、  
飯沼部長、松枝部長、大内部長代理、新家部長、中野部長、白澤室長、  
小口室長補佐、中澤主査、西牧主査  
(株式会社ぎょうせい) 今中主任研究員、浅水研究員
- 6 公開・非公開の別.....公開
- 7 傍聴人.....2人.....記者2人
- 8 会議録作成年月日.....平成24年11月9日

## 協議事項等

## ◇ 会議の概要

- 1 開会(白澤危機管理室長)
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ(宮澤市長)
- 4 議事(議長=会長)
- (1) 安曇野市地域防災計画の修正事項(案)について
- (2) その他
- 5 閉会(白澤危機管理室長)

## ◇ 詳細

## 1 開会(午前10時)

## 2 委嘱状交付

事務局： 会議に先立ちまして、東日本大震災の教訓から、防災対策に広く女性の声を反映させるため、今回、当防災会議に女性の委員さんを大勢登用させていただきましたので、皆様の委嘱状の交付を行いたいと思います。宜しくお願い致します。

はじめに、女性委員の委嘱の経過について、簡単にご説明申し上げます。昨年3月11日に発生しました東日本大震災では、避難所の運営等で、意思決定に女性の参画がほとんど無く、女性の視点が全く取り入れなかったという教訓もございます。それに基づきまして、女性用の物資の不足、女性専用の物干し場、更衣室、授乳室の設置が無いなど、女性が困難な生活を送ったと聞いております。これらを踏まえまして、安曇野市では女性の防災委員ということで、安曇野市消防団女性消防隊、安曇野市赤十字奉仕団、安曇野市ボランティア連絡協議会、安曇野市社会福祉協議会、公益社団法人長野県看護協会から1名ずつ選任を頂きまして、この度、5名の女性の委員の皆様をお願いするものでございます。それでは、市長より委嘱の

交付をお願い致します。

(市長から女性委員5名へ委嘱状を交付)

### 3 市長あいさつ

市長：皆様、おはようございます。本日は安曇野市防災会議の開催をさせて頂きました。一言ご挨拶を申し上げます。関係機関の皆様におかれましては、大変お忙しい中をご出席賜りましたこと、改めて感謝申し上げます。それぞれのお立場で、新しい安曇野市の基礎づくりのためにご尽力、ご協力、ご理解を頂いております。改めて感謝申し上げます。さらに市の防災・減災対策等につきましては、それぞれのお立場でご尽力頂いております。また、昨年3月11日に発生した東日本大震災発生の教訓から、先程ご委嘱申し上げた5名の女性の皆様方に、本会議にご参加頂くことができました。過日、被災地に再度訪問させて頂きましたが、がれきの処理がまだまだ進んでいない状況であり、いつ復旧・復興が進むのか、現地の状況は惨憺たるものでした。冬場を迎えるにあたって、仮設住宅から出られないという状況でもございますので、私ども出来る限りの支援を続けて参りたいと思います。震災のみならず、長野県におきましても北部地震、松本での中部地震、そして上高地での土砂災害の発生等、市民生活を脅かすような事案が発生しておりまして、防災対策への関心を高めていかなければならないと思っておりますし、また、市民の期待に応える防災対策を、行政として最大限取り組んでいかねばならないと思っております。幸いに致しまして、安曇野市では大きな災害の発生が無く、穏やかな状況が続いておりますが、冬場を迎えて、火災等が先頃発生したことで、冬場に向けての火災防止対策等には、これから力を入れていかなければならないと思っております。政府の地震調査委員会では、東日本大震災を受けて、100か所余りの活断層を再評価したところ、その結果、牛伏寺断層での地震発生率が非常に高まった可能性があるとの報道がされております。いつ発生するかわからない大地震に備えて万全を帰していかなければならないと思っておりますし、また災害発生に対しては、被害を最小限に食い止めていかなければならず、人命重視、人命第一を考えた対応が必要になってくるだろうと思っております。皆様方それぞれのお力をお借りしまして、ぜひ迅速な対応が出来るように、一層のご尽力を賜りたいと思っております。

3月11日の東日本大震災の教訓から、先ほど申し上げた通り、女性の視点からのきめ細かな災害防止対策を推進していかなければならないということで、今回お願い申し上げます。本日は、新たに公表されております、国・県の防災計画との整合を図りながら、東日本大震災等の教訓を受けて、安曇野市地域としての防災計画の主な修正事項について、ご審議頂くことになっております。委員の皆様におかれましては、それぞれのお立場で建設的なご意見、ご提言等を賜るよう、宜しく願い申し上げますとともに、この会議が円滑に進行致しますように、ご協力を申し上げ、ご挨拶とさせて頂きたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

(委員の自己紹介) = 省略

(配布資料の確認) = 省略

#### 4 議事

##### (1) 安曇野市地域防災計画の修正事項(案)について

事務局： これより議事に入ります。議長につきましては、安曇野市防災会議条例第3条第2項によりまして、本会議の会長であります、宮澤市長にお願い致します。

会 長： それでは条例に基づきまして、私が議長を務めさせていただきます。宜しく願い申し上げます。それでは、会議次第に沿いまして、議事を進めさせていただきますと思います。安曇野市地域防災計画の修正事項(案)につきまして、ご協議を頂きたいと思っております。事務局から、内容の説明を行います。宜しくお願いします。

事務局： それでは、安曇野市防災計画の修正事項につきましてご説明申し上げます。昨年発生しました東日本大震災、長野県北部地震、長野県中部地震では甚大な被害が発生し、多くの尊い命が失われました。これを受けまして、国の防災基本計画、県においては長野県地域防災計画の見直しが、順次進められているところでございます。

改正計画では、皆様ご承知の通り、災害対策法第42条の規定によりまして、国の防災計画に基づいて作成し、毎年検討・見直しをすることになっております。改正された内容につきましては、国から県、県から市へと送付されて参ります。従いまして、国・県・市の防災計画は統一された内容が望ましく、今回、県の地域防災計画の内容に合わせまして、整合性のとれた修正を行うようになっております。また今回、新たに原子力対策編を新設致しましたので、それを基にして修正を行うものでございます。それでは資料に沿いまして説明をさせていただきますので、宜しくお願い致します。

(資料により説明) =省略

会 長： ただ今、大まかな説明が事務局からございました。安曇野市地域防災計画修正事項(案)についての説明でございます。本件につきまして、ご意見・ご質問等がございましたら、それぞれお願い申し上げます。

委 員： 地震災害対策編の中を見させて頂くと、東海地震に関するものにつきましては、語句が一部古くなっております。後程、事務局の方にパンフレットを差し上げますので、字句の修正をお願いします。原子力については、別途でのご審議でしょうか。それともこの場でも宜しいでしょうか。

会 長： ご意見がございましたら、宜しくお願い致します。先程の件につきましても、後で文章を頂けるとのことですが、具体的に皆様にご説明頂けたらと思っておりますので、お願い申し上げます。

委 員： まず地震災害のところで、東海地震観測情報といったものが記述されておりますけれども、これは昨年の3月から、東海地震調査情報と名前が変わっております。東海地震調査情報には種類が2つございまして、臨時と定例というものがございまして、安曇野市の防災計画に書かれてある観測情報は、臨時に当たるものと思っておりますので、記述を直して頂きたいと思っております。定例については、状況に特に変化がないという安心情報のようなもので、それには対策をとることはないと思っておりますが、調査情報の臨時というものが出た段階から、災害対策編に書かれているような対策を取って頂けたらと思っております。そうした語句の修正につきまして、ご検討をお

願いたいと思います。それから原子力災害のところにつきましては、意見というものではありませんが、気象台としてご協力できる部分がございます、モニタリングのところで盛り込んで頂けたらと思います。資料2の原子力災害対策編の17ページに、第2節「モニタリング等」があり、第3に実施計画、市が実施する対策が書かれておりますが、その下にでも宜しいと思いますので、関係機関が実施する対策というような形で、気象台がこういうことが出来るという記述をして頂けたらと思います。皆様、放射能の拡散が気になるころだと思いますが、放射能の拡散につきましては、文部科学省のSPEEDIというもので予測しております。これは単なる風向風速だけではなく、色んな条件を取り入れて予測しているものですが、災害が発生した時には、安曇野地域などの風の予想や雨がいつ降るかといった気象情報を、私たちは支援する準備ができてございますので、もしご依頼されましたら、情報をご提供したいと考えております。具体的な文言につきましては、またご相談したいと思います。それから、資料3の火山災害対策編ですが、一部字句の修正等がございます。3ページに地図と山の名前が書かれておりますが、アカンダナ山の最新の噴火年が1995年となっております。しかし検証によって、中の湯付近の1995年の水蒸気爆発はアカンダナ山の活動ではなく、焼岳の活動との見解になったことから、アカンダナ山の最新の噴火年は妙高山と同じく、無しとなります。それに伴いまして、焼岳の最新噴火年が1963年から1995年に、現在では変更されておりますので、訂正を願えればと思います。その欄の横に、常時観測対象火山に草津白根山と浅間岳、御嶽山が該当となっておりますが、新潟焼山、焼岳、乗鞍岳も常時観測対象火山になっております。続いて資料3の6ページに、噴火警報及び噴火予報の発表基準の表がございますが、これも変わっておりますので、後程事務局の方に表をお渡し致しますが、aの噴火警報の発表基準が違っておりまして、「居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が切迫している状態と予想される場合」と記述されておりますが、「と予想される場合」を削って頂いた方が良いかと思っております。「居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生あるいは切迫している状態」という記述にしてありますので、修正頂けたらと思います。bの噴火警戒レベル未導入火山（乗鞍岳、アカンダナ山）の表につきましても、一番下の噴火予報の発表基準が簡単に書かれておりますが、上の噴火予報と同じ内容の方が宜しいかと思っておりますので、その部分につきましても修正頂けたらと思います。宜しくお願い致します。

会 長： 沢山のご指摘を頂きました。ありがとうございます。ご指摘を頂いた点、お気づきになられた点等は、後程、事務局の方へご報告頂きたいと思っております。何か事務局からコメントはございますか。

事務局： それでは後程、資料等頂きまして、早速訂正等を行いますので、宜しくお願い致します。

会 長： 気象台の方の用語や、あるいは観測の内容が変更されたとのことでございますので、後程ご指摘頂きたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。他の委員の皆様方、ご意見、ご質問はございますでしょうか。

委 員： 資料2の災害対策編の15ページでございます。「2 異常時の通報」の文章の中で、「…電力会社より県に通報され、県より市・消防本部・保健福祉事務所及び建

設事務所へ通報される。、『(2)通報連絡の流れ』参照)』とあり、時系列での連絡の流れも記載されておりますが、その時系列の中では、県から、市・消防機関・地方事務所・現地機関となっております。これらの記載の整合性を取られたらいかがかと思っておりますので、宜しくお願い致します。

会 長： はい、ありがとうございます。また後程ご指摘の点について、事務局の方にお伝えを頂けるようお願い致します。ありがとうございます。事務局、宜しいでしょうか。

事務局： はい、わかりました。ありがとうございます。

会 長： ありがとうございます。他に何かございますでしょうか。お気づきの点等、ございましたら、宜しくお願い致します。

委 員： 原子力災害対策編の中で、災害が起こった場合に、子どもさん達に投与するヨウ素剤につきまして、当市でもヨウ素剤を購入しておりますが、薬剤師会にお預けしており、そこから配布すると、かなり時間がかかってしまうという問題がございます。医療的な見地から、松本保健所さんの方で、ヨウ素剤の投与について、何かお考えがあれば教えて頂きたいのですが。

委 員： 県の保健福祉事務所という立場から申し上げますと、どうしても県の指針ということになるかと思っておりますが、ただ各市町村における防災計画でございますので、市の方でお考えがあれば、それで差支えないと思っておりますし、県の方との整合性を取らせて頂く形にもなるかと思っております。

会 長： 具体的には、医師の指示がなくても、すぐにヨウ素剤の活用が出来るという考え方でよいのでしょうか。薬剤師会ではなく、学校や保育園の現場でヨウ素剤を保管し、即対応するということが、医療法上可能かどうかということなんですが、いかがでしょうか。

委 員： 色々難しい問題がありますが、配布する場合も、ご父兄の了承等を事前に頂くなど、色んな体制を考えるということだと思っております。ヨウ素剤の配布に関しては、松本市の方でもご検討が進んでいると伺っております。そういうことを踏まえまして、ご検討されたらいかがかなと思っております。いずれにしても、判断における医師会等の関係は重要なのかと思っております。

会 長： ぜひその部分につきましても、県の方として一定の方向を打ち出して頂き、各自自治体が即対応できるよう、前向きにご検討頂くよう、要望させて頂きたいと思っております。

委 員： その点につきましては、承って、県の方に申し上げたいと思っております。

会 長： はい、お願い致します。宜しいですか。

委 員： はい。

会 長： 他に何かございますか。それでは他にもお気づきの点がまたございましたら、随時事務局の方へ、文書あるいは口頭でご報告をお願い申し上げまして、修正すべき点は修正させて頂きたいと思っております。これにて、説明そして質疑につきましては、打ち切らせて頂きたいと思っております。

## (2) その他

会 長： それでは、次に（２）のその他の議題でございますが、事務局からなにかございますか。

事務局： 資料４をご覧ください。今後の予定につきまして記載しております。

(資料により説明) =省略

会 長： ただ今、事務局から連絡事項を申し上げさせて頂きました。防災計画につきまして修正や追加、ご意見等ございましたら、11月12日頃までにご意見頂きたいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。ただ今の説明につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。

委 員： どういった形でご意見をお伝えすれば宜しいでしょうか。

事務局： できればメール等で頂けるよう、お願いしたいと思います。

委 員： わかりました。

会 長： 他にございますか。

委 員： その他で外れますが、宜しいでしょうか。

会 長： 一旦、事務局からの連絡事項の質疑を打ち切らせて頂きます。その他に、委員の皆様方からのご意見やご質問、ご提言等を賜りたいと思っております。それでは、どうぞ宜しくお願い致します。

委 員： 犀川砂防事務所でございます。近年の大規模災害を受けて、防災教育の必要性を考えております。小学生のお子さんに防災学習をして、避難の方法などを学校の授業のカリキュラムに入れてもらうよう、管内の小学校にお話をしているのですが、その中で小学校より意見を頂いております。災害対応マニュアルの作成依頼を受けてのご意見で、学校側では安曇野市の防災計画をよく把握していないという意見がございました。また、学校側で災害対応マニュアルを作ったが、市の教育委員会等や消防等に意見の依頼をしたところ、意見を頂いたのは消防だけだったと、こういうことでもございました。学校でのマニュアル作成において、危険箇所などを誰も把握されておられないようで、それらを加えたマニュアルを作りたいとのことでしたので、宜しくご指導をお願いしたいと思います。

会 長： ただ今、貴重なご意見を頂きました。防災の関係につきまして、何かございますか。

事務局： 今のご意見を参考にしまして、危機管理室としましても、教育委員会等を通じて、再度防災計画の説明等をするよう手立てを考え、実施して参りたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。

会 長： 教育長がご出席でございますが、災害マニュアルの活用、あるいは授業の中でカリキュラムとして防災教育が入れられないかというご提言でございます。授業時間の関係もあるかと思っておりますので、すぐに返事ができるかどうかは難しいと思っておりますが、いかがでしょうか。

委 員： 授業の中に取り込むということは必要なことですので、カリキュラムの中にどの程度入れられるか、検討を進めています。防災計画における危機管理室を中心とした市の全体像について、マニュアルを作ったときにお示し致しましたが、現場では不徹底とのことでしたので、再度お示しし、市全体の防災計画をご理

解頂けるようにしていきたいと思います。ありがとうございました。

会 長： 大変、差し入ったことで申し訳ございませんが、学校の限られた時間の中で、どのように組み込むかこれから検討して頂くということですが、専門的な立場からすれば、防災教育をカリキュラムに取り入れるとすれば、仮に年間で時間としてはどのくらいなのでしょう。

委 員： 学校のカリキュラムによりますが、24年度は難しく、25年度にそうした時間を設けるような検討を頂くということになっております。

会 長： 実質的に、子どもたちがある程度理解できる時間はどのくらいでしょうか。

委 員： 1、2時限くらいでしょうか。子どもさんが集中して聞けるのは、30分くらいが限度だと思います。

会 長： 検討して頂くということで、宜しくお願い致します。他にございますか。特になければ、以上をもちまして、本日の議事を終了させていただきます。ありがとうございました。あとは事務局に進行して頂きます。

## 5 閉会

事務局： 大変貴重なご意見等、賜りましてありがとうございました。以上をもちまして、本日の日程を全て終了しました。委員の皆様におかれましては、今後とも安曇野市の防災行政により一層のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。以上をもちまして、安曇野市防災会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

閉会 午前10時55分